

(様式第1号)「受講申込書」記入上の注意

1 「受付番号」欄には記入しないでください。

2 各欄の記入手順

- (1) 「氏名」欄には、運転免許証等の公的な証明書で確認することができるあなたの氏名を楷書で判読できるように記入し、よみがなを付けてください。生年月日は、「昭和、平成」のうち該当するものを○で囲んで記入してください。
- (2) 「居住地」欄には、住民登録等の有無に関係なく、現在あなたが日常生活の本拠としている住所(通常、生活の場としている、連絡のとることができる所)を記入してください。「電話番号」は、連絡が最も確実にとれる番号を記入してください。
- (3) 「勤務先」欄には、現在あなたが勤務している会社等の名称、所属部局課名と、その所在地を記入してください。「電話番号」は、「居住地」欄と同様に連絡が最も確実にとれる番号を記入してください。
- (4) 「判定士資格要件」は、あなたの宅地判定士となれる資格に該当するものに ○を記入してください。
- (5) 更新登録のためこの講習会を受講する方は、「判定士資格要件」欄への記入は不要です。「登録証の更新のため、この講習会を受講する方」の欄に○を記入してください。

(様式第6号)「被災宅地危険度判定士登録更新申請書」記入上の注意

1 各欄の記入手順

- (1) 「申請者氏名」欄には、運転免許証等の公的な証明書で確認することができるあなたの氏名を楷書で判読できるように記入し、よみがなを付けてください。生年月日は、「昭和、平成」のうち該当するものを○で囲んで記入してください。
- (2) 「居住地住所」欄には、住民登録等の有無に関係なく、現在あなたが日常生活の本拠としている住所(通常、生活の場としている、連絡のとることができる所)を記入してください。「電話番号」は、連絡が最も確実にとれる番号を記入してください。
- (3) 「勤務先」欄には、現在あなたが勤務している会社等の名称、所属部局課名と、その所在地を記入してください。「電話番号」は、「居住地」欄と同様に連絡が最も確実にとれる番号を記入し、勤務先の代表番号のみ記入する等、非常時の連絡に手間がかかる可能性がある番号は避けてください。

「被災宅地危険度判定士実務経験申告書」記入上の注意

1 各欄の記入手順

- (1) 「職名」欄には、申告期間内にあなたが就いていた役職の名称を具体的に(例えば「××部××課××係技術吏員」等)記入してください。
- (2) 「主な経験の内容」欄には、「職名」欄に記載した役職にいた期間中にあなたが行った具体的な業務の名称を、概ね2年毎に一つ以上記載してください。
- (3) 「期間」欄には、「職名」欄に記載した役職にあなたが就いていた期間を記入してください。なお、期間は月単位で記入し、その初日が毎月2日以降である場合には、最初の月を算入せずに記入してください。
- (4) 「合計」欄には、「期間」欄に記入した期間の年月を合計し記入してください。